



議会報告 2019.07 VOL.1

令和元年7月定例会



職員給与改定

災害対応時の休日夜間勤務の手当の新設

まれに発生する大規模自然災害に直接対応する場合に限るもので、災害に付随する2次的な対応は認められないことを指摘しました。

病児・病後児保育事業

山田・千里丘地域、ニュータウン地域に新たに病児・病後児保育室が設置

市民ニーズが高まり、利用を断るケースが急増しており、令和元年度中に新たに1か所整備することになりました。

不妊治療助成事業

府の助成事業対象外の夫婦にも助成する事業

府の所得制限により府の支援事業対象外となる方へ、吹田市独自で費用助成することになりました。

公園トイレの洋式化

築30年の和式トイレを洋式に

便器を洋式化するだけでなく、手すりの設置などバリアフリー対応も行うよう指摘しました。

産婦歯科検診

妊婦検診に加えて産後のケアも拡充

妊婦さんの歯科検診を、産後も1年まで歯科検診1回無料になり、産まれたお子さんの口腔状況の問診・保健指導も実施されます。

がん検診事業

胃がん検診に胃内視鏡検査を導入

50歳以上の市民を対象に、バリウムを飲む胃のエックス線検査とより詳しく検査ができる内視鏡検査も選べるようになります。

分譲マンションの耐震改修設計補助事業

管理組合向けの耐震改修設計と工事の補助金制度が新設

難航する管理組合の意思決定に対するサポートも併せて必要であると指摘しました。

吹田市立小学校におけるいじめ事件

本市小学校でのいじめを巡る経緯

2015年秋頃	女兒が同級生の男児5人からいじめを受ける
16年3月	女兒がいじめにより左足骨折
6月	女兒が学校のアンケートでいじめを訴えたが、担任は深刻ないじめはないと判断
17年3月	女兒からいじめを打ち明けられ、母親が学校に被害を訴える
4月頃	女兒は目が見えにくくなり、心的外傷後ストレス障害(PTSD)と診断される
6月	女兒の親が第三者委員会の設置を求めたが、市教委は応じず女兒の親が大阪府警に被害届
7月	府警がいじめに関わった男児5人を児童相談所に通告
8月	市教委が第三者委の設置を決定
10月	第三者委が調査を開始
19年6月	第三者委がいじめを認定

平成27年から吹田市立の小学校が被害児童は重傷を負う重大ないじめを1年半にも渡って放置していました。

市は当初第三者委員会の設置を拒否していましたが、代理人弁護士他の指摘によって設置され、本年6月になって初めて報告書が公開されるといふ、極めて緩慢な対応でした。

平成28年6月被害児童が担任にいじめを訴え、平成29年10月第三者委員会設置し、本年6月に公開と余りにも長い年月を要しています。大阪維新の会・吹田は代表質問において、吹田市教育委員会は形骸化し機能していない、そのあり方について廃止も含めた議論が必要であること。そして教育長の任命は市長が行った、このいじめ事件が公表されたのは市長選挙の後であり、そこに何らかの配慮があったと疑義が残ると厳しく追求しました。

